

報道関係者各位

プレスリリース

2023年8月22日

武蔵小杉エリアプラットフォーム

こすぎコアパークを活用した社会実験を開始します

～「武蔵小杉未来ビジョン」に基づくリーディングプロジェクト～

武蔵小杉エリアに関わる様々な主体が参画する団体「武蔵小杉エリアプラットフォーム」は、より魅力的なまちを目指して、このほど、これからのまちづくりのアクションプランとして「武蔵小杉未来ビジョン」を策定しました。このビジョンに基づき、「こすぎコアパーク」において、一括受付窓口や行政等との利用に関する調整を円滑化させ、にぎわいを創出し、様々なイベント等の利活用を進め、得られた収益等を活用し、コアパークの環境美化やまちづくりへの還元を図るため、次のとおり社会実験を実施します。

■社会実験の概要

- 実施主体：武蔵小杉エリアプラットフォーム
- 実施期間：令和5年8月22日～令和5年11月30日
※実験の状況を踏まえ、12月1日以降も取組を継続する場合があります。
- 実施内容

- ① 一括受付窓口（こすぎコアパークでイベント等を行いたい方をHPにより受付を行います）
- ② 行政等との利用調整
- ③ 収益活用による環境美化・まちづくりへの還元



※詳細（社会実験に関する利活用の手引き）は、当団体のホームページをご参照願います。

■社会実験としてこすぎコアパークで予定されているイベント

- 8月26日 中原区における川崎市制100周年記念プレイベントなかはらコアまつり
- 9月9日～10日 クラフトビールフェスティバル by TABA
- 9月16日～18日 Tahiti Festa 2023 武蔵小杉
- 10月7日～9日 ファミリーとキッズが楽しむ大規模フェス 第6回まんなかフェス

■武蔵小杉エリアプラットフォームとは

住民の住みやすさ向上に関する様々な施策など、まちづくりに協働で取り組むため行政を含めた地域にかかわる各主体が参画し、2021年に設立された団体です（2023年7月現在、行政、学術機関、商店街、商業施設、企業など19団体で構成）。これまで公共空間活用の社会実験や、今後のまちづくりのアクションプランとなる「武蔵小杉未来ビジョン」の策定を行ってきました。



（左:2022年実施の社会実験の様子／右：「武蔵小杉未来ビジョン」の表紙 ※全編は武蔵小杉エリアプラットフォームのホームページに掲載）

■「武蔵小杉未来ビジョン」とは

武蔵小杉のまちで、わたしたち自ら行動を興していく際の道標（みちしるべ）になるもので、わたしたちの想いや目指していることを伝えるためのものです。

「小杉ユニークなまち」をスローガンに、3つの将来像を掲げています。

将来像① 出会える小杉

将来像② 小杉スタイルの暮らし

将来像③ 未来に繋がる小杉

※武蔵小杉エリアプラットフォームが、官民一体となってまちづくりの指針となるものをまとめたのは初めてとなります。

※5月に地域住民を対象とした意見募集を実施しました。その意見を反映し、7月に改訂しました。

（全編は武蔵小杉エリアプラットフォームのホームページに掲載）。

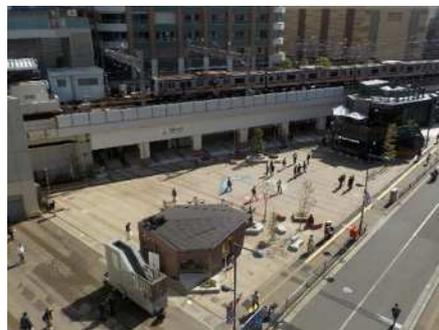
■こすぎコアパークについて

公園名：こすぎコアパーク

公園種別／面積：街区公園／1,100.27 m²

公園管理者：川崎市

こすぎコアパークは「まちの玄関口」として、武蔵小杉駅周辺地域の核（コア）に位置し、東急武蔵小杉駅南口に隣接する都市公園です。これまで、町内会・自治会や再開発によるマンション居住者等の地域住民の交流の場として定期的にイベントが開催されるなど、賑わいや交流の場として利用されてきた一方で、休日前の深夜帯などを中心にごみの投棄や騒音等の課題が生じている現状があり、本社会実験を通じて改善に向けて検討を進めてまいります。



以上

本件に関するお問い合わせ先

武蔵小杉エリアプラットフォーム 事務局（一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメント）
安藤

044-819-5888 E-mail: musashikosugi.areaplatform@gmail.com

なお、行政の関係機関については、下記のとおりです。

○武蔵小杉未来ビジョンに関すること

中原区役所まちづくり推進部地域振興課 青柳

044-744-3150

○こすぎコアパークの活用に関すること

建設緑政局緑政部みどりの事業調整課 坂

044-200-0511